

令和6年度第3回 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会会議録

日 時 令和6年11月13日（水） 13:30～15:00

場 所 101会議室

委 員 塚本 辻村 宮田 福島 浅田 日下 杉浦 奥坂 本坊 長谷川 谷口 中根 高橋
近藤

事務局 加藤直 杉浦 木下 新實 安藤 加藤良 細山 加藤貴 野々山 岩上 羽田野 磯村
喜田

意見・質疑等

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

（1-1）第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の評価指標の進捗状況について
基本目標1（資料1）

【説明】 事務局

【質疑応答】

委 員 オンライン体操教室の登録者数は1回につき何人視聴しているか。

事務局 1回につきzoomは10人前後、拠点では10人から15人程度視聴している。
YouTubeを通じた視聴者は100人から200人程度が視聴している。

委 員 視聴している数は妥当か。

事務局 今後周知することで視聴者の獲得に努める。

委 員 10年後はスマートフォンを使える人が増える。継続していけると良い。

会 長 登録者630名の内、性別や年齢層を確認しているか。

事務局 性別や年齢層の確認はできていない。団体では女性の参加が多い傾向であるが、オンラインでは、男女差に大きな差はないと考えている。

委 員 訪問看護の利用者に紹介したが、スマホの画面が小さく利用しづらいと聞いた。団体等への大画面で見れるような機器の貸与を検討してほしい。

委 員 いきいきクラブでは好評を受けている。今後普及していくと思われる。

委 員 ちょこっとささえあいについて、どの地域で実施しているのか。また、サポーターの地域差はあるのか。

事務局 モデル地区として一ツ木地区、西部地区、小垣江地区で実施している。サポーターとなる高

齢者支援の団体が多い地区であり、モデル地区からの参加が多いが、他市の方が登録していただいた実績もある。

会 長 まだ始まったばかりの事業であり、周知啓発と共に効果の分析やアンケート等による課題の抽出を行い改善していくことが必要。

委 員 オンライン体操教室の参加者へのアンケートだけではなく、参加していない方へのアンケートも検討してほしい。

事務局 LINEでのアンケート機能などを利用して意見を集約するようにしている。今後ご意見があった場合には、参考にしていく。

(1-2) 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の評価指標の進捗状況について

基本目標2（資料1）

【説明】 事務局

【質疑応答】

委 員 かりまるを使い、美術館を利用するとプレゼントがもらえるイベントがあったが、QRコードが読み取れなかった事例があった。

事務局 事例については、担当部署に伝える。

委 員 タクシー券の利用の促進について、条件の基準が要因で利用が進まないのか。

事務局 要支援2、要介護1以上で同居親族全員が市民税非課税であることが条件であり、ひとりにつき月に3枚年間36枚配布している。利用率については、昨年度が65%であった。通院など限定された状況で利用されている印象であるため、通常のおでかけなどでも利用してもらえるように周知を図っていく。

委 員 タクシー券が不足した場合は、追加で交付を受けられるのか。

事務局 月当たり3枚は変わらない。

委 員 免許を返納する人が多く、代わりにかりまるを使っているが、空席が目立ち待ち時間が長いといった声を聞く。バスを小さくして、本数を増やすことは可能か。

事務局 意見交換会を地区と実施しており、そういった内容の意見は受けていると聞いている。そういった意見を受けて、本数や路線の増加、待合場の改善等を検討していると聞いている。

会 長 スーパーなどへの往復など、ピンポイントでの移動支援が始まってきている。一つの交通手段だけではなく複数を組み合わせていくなど、他部署が持つリソースを含めて検討していく必要がある。

会 長 高齢者タクシーの助成について、使う人が増えてきている。実際に利用している人へのアンケートを実施しているか。また、委託業者への課題や問題点の聞き取りを行っているか。

事務局 利用者は増加してきている。利用者に対するアンケートは実施できていないが、タクシー会社とは意見交換会を開催しており、タクシー会社からの要望は聞いている。

会 長 どういった場面でタクシー券が活用されているのかを把握することは、今後ニーズに合ったサービスの提供を検討する上で重要になる。

(1-3) 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の評価指標の進捗状況について

基本目標3 (資料1)

【説明】 事務局

【質疑応答】

委員 後方支援ベッドについて調査した病院を教えてください。

事務局 刈谷医師会の管轄で知立市、高浜市、刈谷市の3市7病院を調査している。具体的には、辻村外科病院、刈谷記念病院、刈谷豊田東病院、一里山今井病院、富士病院、秋田病院、高浜豊田病院である。

委員 受け入れ内容について調査を実施したとあるが、こういった内容か。

事務局 看取りやレスパイト可能かなどについて確認し、とりまとめたものを事業所など関係機関に情報提供している。

会長 関係機関への提供による利用実績はどうか。

事務局 まだ始めたばかりであり、ショートステイなどのサービスもあるため、浸透してきていない部分はある。今後周知していく。

委員 現状レスパイトを利用している方は限定的である。刈谷豊田総合病院の系列でも病床は確保しているため、ぜひ活用してほしい。

委員 医療介護関係者向けの研修の参加が35名と少ないように思うが、どのように周知しているのか。

事務局 刈谷医師会から関係医療機関等に周知し、市からは地域包括支援センターや介護事業所等に周知している。

委員 ACPについて、医療と繋がっていない高齢者の利用促進について検討してほしい。

事務局 元気なうちにACPの利用を促していく難しさは感じている。今後周知の方法を検討していく。

委員 訪問看護事業所では、契約時に本人やキーパーソンに対して確認している。

会長 ACPは思いの移り変わりもあるため、最後の意思をいかに吸い上げられるかが重要。

(1-4) 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の評価指標の進捗状況について

基本目標4 (資料1)

【説明】 事務局

【質疑応答】

委員 各地区で防災訓練が盛んに行われ、訓練の中では安否確認が実施されている。安否確認時の啓発など防災と絡めて認知症サポーターの普及となるような活動を検討してほしい。

委員 認知症サポーターは実際に認知症の方や認知症の方の家族などといった関わり方をしているのか。

事務局 認知症サポーターは、認知症サポーター養成講座を受講した方であり、認知症について正しく理解して関わり方を知っている人を増やすことを目的としている。すぐに何か行動をしていただくことや、強制的にイベント等に参加していただくものではない。

委員 オレンジリングについての認識が浸透していないように感じる。周知する取組が必要だと考えるがいかがか。

事務局 知って頂くことが重要。今後活動の幅を広げPRしていく。

委員 認知症についての理解度を知る上でも住民への意識調査が必要だと思うが何か調査しているか。

事務局 介護保険事業計画を策定する上で高齢者実態調査を実施しており、認知症についても調査している。認知症の言葉自体は浸透してきていると思われるが、認知症の方と接してもらう機会については不足していると感じる。認知症についてより知ってもらうためには、更なる周知が必要。

委員 実際に認知症を患った方の声を届けるような活動が重要。

事務局 認知症の方本人に出席してもらうような交流会の開催など、あらゆることを検討していく。

会長 認知症の方の家族等への支援などについて周知していくことも重要。

(1-5) 第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の評価指標の進捗状況について

基本目標5（資料1）

【説明】 事務局

【質疑応答】

委員 入門的研修を受講した方が介護の職に就いているのか。また、人材確保について今後検討していることとはどういったことか。

事務局 介護職を目指す方や家庭で介護が必要な方など、介護を知るきっかけ作りとした研修であり、追跡調査等は実施していない。今後は、研修の受講者を増やすことや、事業者とのマッチングなどを検討している。

会長 小さな事業所では、職員の質を上げていくための研修の実施が難しい。そのため、国は事業所間の連携を掲げている。行政機関が手始めとして法人同士の連携を手助けする仕組みを検討してほしい。

委員 障害者グループホームの運営会社恵の件で、問題は3つあると思う。①運営方法②行政のフォローが少ない③利用者から助けを求める発信が多くなされていたが、調査する人が少なかった。そういった問題から、刈谷市では、利用者からの情報はどのような流れで処理されているのか。仕組みを教えてほしい。

事務局 市内に事業所は約160あり、その事業所に対し運営状況や勤務状況などの確認を行っている。その際に、改善内容が発覚した場合には速やかに改善指示を行い改善が確実に実施されていることの確認まで行っている。また、利用者からのSOSについては、各事業所には市等への連絡先を事業所内に掲載するよう指導しており、連絡があった際には、内容に応じて

愛知県等との情報共有や事業所に訪問し調査している。

4 その他

事務局 次回の開催について、令和7年2月13日（木）午後1時30分からとさせていただく。また詳細は改めて通知する。

5 閉会

会 長 本日の議題については、これですべて終了した。これにて令和6年度第3回の刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画懇話会を閉会とする。